

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和3年度実施分)

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
事業名	①創業支援事業	担当課名	商工観光課
事業内容	本市で「しごと」にチャレンジしたい個人等への支援を目的とした「創業セミナー」や「創業塾」(市商工会主催)を開催し、創業塾の所定の条件を満たした受講者は、特定創業支援等事業による支援を受けたことの証明を受けることができ、各種支援制度が活用できます。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
創業支援事業補助金(創業塾等の開催)	予算額	1,500,000 最終予算額	1,300,000 当初予算額	1,300,000 当初予算額	-	-
	執行額	1,500,000	1,169,000	-	-	-

	基本目標における数値目標		数値目標				
	市内事業者従事者数 (経済センサス)		17,060人 (H28活動調査)		⇒	17,540人 (R6)	
重要業績評価指標状況(KPI)	KPIの内容	基準値	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
		2回	2回	2回	2回	2回	2回
	創業セミナー及び創業塾の開催数	実績	2回	2回	-	-	-
		評価(A~D)	A	A	-	-	-
		20人/年	20人	20人	20人	20人	20人
	創業塾の参加者数	実績	24人	15人	-	-	-
		評価(A~D)	A	D	-	-	-
	受講者のうち創業又は事業拡大につながった数	4件	4件	4件	4件	4件	4件
		実績	5件	3件	-	-	-
		評価(A~D)	A	D	-	-	-
当該年度取組内容と事業効果	日置市商工会と連携し、创业者の掘り起こしのために、創業を考えている方や創業に興味を持っている方などを対象に「創業セミナー」を開催。また、創業を本格的に考えている方や創業初期の方を対象に具体的な創業のための知識の習得を目的とした「創業塾」を開催した。【参加人数等の結果については上記のとおり。】						

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。		課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	令和3年度においては、2項目のKPIに対して実績が75%となった。		今後も関係機関と連携を図りながら、創業希望者のニーズ等を踏まえた支援を行う必要がある。

「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性
 ※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

成果や費用対効果の向上に努めつつ継続実施

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
 A：KPIに対して実績が100%以上 C：KPIに対して実績が89%~80%
 B： " 99%~90% D： " 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和3年度実施分)

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
事業名	②新規創業者スタートアップ支援事業	担当課名	商工観光課
事業内容	本市の地域活性化と産業振興を図るため、市内で創業する者に対して創業に要する経費の一部を支援します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
新規創業者スタートアップ支援事業費補助金（創業に要する経費の一部を支援）	予算額	2,500,000 最終予算額	2,500,000 当初予算額	2,500,000 当初予算額	—	—
	執行額	2,009,000	2,256,000	—	—	—

基本目標における 数値目標	区分		数値目標					
	市内事業者従事者数 (経済センサス)		17,060人 (H28活動調査)		⇒	17,540人 (R6)		
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)	
		4件						KPI
	受講者のうち創業又は事業拡大につながった数		実績	5件	3件	—	—	—
		評価 (A～D)		A	D	—	—	—
		KPI	—	—	—	—	—	
			実績	—	—	—	—	—
		評価 (A～D)		—	—	—	—	—
		KPI	—	—	—	—	—	
			実績	—	—	—	—	—
		評価 (A～D)		—	—	—	—	—
	当該年度の実績内容 事業効果		令和3年度新規創業者スタートアップ支援事業費補助金については、7つの事業者が活用し、市内で創業した。					
	※ なるべく数字（金額、人数等）を用いて記入してください。							

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。		課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	令和3年度においては、KPIに対して実績が75%となった。		今後も関係機関と連携を図りながら、創業希望者のニーズ等を踏まえた支援を行う必要がある。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性
※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。
成果・費用対効果を維持して継続して実施

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A : KPIに対して実績が100%以上 C : KPIに対して実績が89%～80%
B : 99%～90% D : 80%未満

2 / 28 ページ

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和3年度実施分)

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
事業名	③工場等立地促進補助 (企業安定雇用創出補助金を含む)	担当課名	企画課
事業内容	市内に工場等を新設、増設又は移転する場合(一定の要件あり)に一定額の補助を行い企業等の規模拡大を支援します。 (企業安定雇用創出補助金:雇用に重点を置き、新增移設の企業が地元で新規雇用を行う場合(一定要件有、工場等立地促進補助との併用は不可)に補助金を交付します。)		

単位:円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
	予算額	29,671,000	0	90,000,000	—	—
		最終予算額	当初予算額	当初予算額		
	執行額	29,671,000	0	—	—	—

基本目標における 数値目標		区分		数値目標				
		市内事業者従事者数 (経済センサス)		17,060人 (H28活動調査) ⇒ 17,540人 (R6)				
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)	
	企業誘致・増設件数 (立地協定件数)	1件/年	KPI	1件	1件	1件	1件	1件
			実績	0件	6件	—	—	—
		評価(A~D)	D					
	補助金交付企業に係る 新規雇用者数	5人/年	KPI	5人	5人	5人	5人	5人
			実績	10人	0人	—	—	—
		評価(A~D)	A					
			KPI	—	—	—	—	—
実績			—	—	—	—	—	
評価(A~D)		—						
当該年度の実施内容 と事業効果	徳重工業団地(パナソニック跡地分譲地)3企業、清藤工業団地1企業、日吉地域に2企業との商談を進め、全6企業(新設1、市内・市外からの移設3、増設2)との立地協定を締結した。なお、昨年度は工場の新増設に至らず、新規雇用者数は0人となっている。							

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	<p>企業が新・増・移設するには様々な環境(適した地理、人材雇用、補助金等)が整い始めて実行される。そのため関係機関と連携を図りながら関係企業との情報共有を行い、ニーズ等を踏まえ継続的に支援を行う必要がある。</p>	

「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性

※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

今後も引き続き誘致に努め、新たな企業立地及び市内企業の事業拡大(増築)につなげるための企業支援を行い、新卒者を含めた新規雇用の拡大につなげていきたい。また、今後は各地域にある旧学校校舎、地区公民館等の空きスペースを活用し、地域課題を解決できる起業家の誘致など、これまでとは異なる取組も展開していきたい。

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和3年度実施分)

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
事業名	④合同企業説明会の開催	担当課名	企画課
事業内容	地元高校生が地元企業への理解や就職に向けて考える機会を創出するため、高校生及び社会人等を対象とした合同企業説明会を開催して人材確保と地元雇用を目指す。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
連携中枢都市圏合同企業説明会 開催事業費負担金288,900円	予算額	695,000	1,231,000	870,000	—	—
	執行額	558,914	288,900	—	—	—
		最終予算額	当初予算額	当初予算額		

基本目標における 数値目標		区分		数値目標				
		市内事業者従事者数 (経済センサス)		17,060人 (H28活動調査)		⇒	17,540人 (R6)	
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値		R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
	市内高校新卒全就職者に 占める日置市内への就職 の割合(3ヶ年平均)	9.76%	KPI	10.00%	10.30%	10.50%	10.80%	11.00%
			実績	8.20%	6.40%	—	—	—
		評価(A～D)		C	D	—	—	—
	※参考 説明会参加の高 校生がアンケートで「参 考になった」と回答した 割合	90.2% (H30)	KPI	—	—	—	—	—
			実績	93.80%	—	—	—	—
		評価(A～D)		—	—	—	—	—
		KPI	—	—	—	—	—	
		実績	—	—	—	—	—	
	評価(A～D)		—	—	—	—	—	
当該年度の取組内容と 事業効果	・令和3年6月30日「企業の魅力説明会」 高校就職指導担当者15人参加 ・令和4年1月10日「連携中枢都市圏合同企業説明会」 日置市7社参加 ※令和4年1月25日～26日「日置市異業種交流懇話会と吹上高校生との交流会」及び2月21日「し ごと発見! 高校生のための合同企業セミナー」は鹿児島県内の「まん延防止等重点措置」適用の影響により、中止。							

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっ ている内容について記入してください。		課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	中高生やその親、進路指導担当の教員に対し、市内企 業の情報が不足している。		高校生に対する地元企業の意識付けのために何が不足しているのか検証を 行い、両者の積極的な交流を図る必要がある。そのため、就職に対する高 校生の考えを「就職に関するアンケート」により集約し、企業セミナー参 加予定企業(32社)に共有しかつ、企業に対しても採用等に関するアン ケートを行い、参加予定高校に情報共有を図った。

「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性
 ※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

かごしま連携中枢都市圏及び地元企業と連携しながら、企業セミナー、企業面談会及び企業見学会等の機会を継続的に実施していく。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。

A : KPIに対して実績が100%以上 C : KPIに対して実績が89%～80%
 B : " 99%～90% D : " 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和3年度実施分)

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
事業名	⑤農林水産業の後継者、新規就業者及び担い手農家への支援	担当課名	農林水産課
事業内容	農林水産業の後継者や新たに就業する者に対して、技術の習得から就業後の定着までの期間（後継者1年・新規就業者2年）、生活費や所得の支援（一定額）を行います。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
<small>R3年度実績</small> 新規就業者：単身(15万円×5月×1組)+(家賃1.5万円×12月×2組)+(家賃1.5万円×6月×1組)=1,200,000円 農業次世代人材投資事業：夫婦 2組 3,375,000円 単身 14組 19,500,000円	予算額	22,842,690	21,075,000	25,820,000	—	—
	最終予算額	—	当初予算額	—	—	—
執行額	22,842,690	24,075,000	—	—	—	

基本目標における数値目標	区分		数値目標					
	市内事業者従事者数 (経済センサス)		17,060人 (H28活動調査) ⇒ 17,540人 (R6)					
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値		R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
			10人/年	10人	10人	10人	10人	10人
	農林漁業の後継者、新規就業者数	KPI	10人	10人	10人	10人	10人	
		実績	3人	7人	—	—	—	
		評価 (A~D)	D	D	—	—	—	
	農林水産業就労相談会等の参加回数	KPI	2回/年	2回	2回	2回	2回	
		実績	13回	7回	—	—	—	
		評価 (A~D)	A	A	—	—	—	
	当該年度の取組内容と事業効果	KPI		—	—	—	—	
		実績		—	—	—	—	
		評価 (A~D)		—	—	—	—	
	※ なるべく数字(金額、人数等)を用いて記入してください。		新たに農業経営を開始された方は、水稻・甘しょを主体とした2名、露地野菜の2名が吹上地域で、ミニトマトの1名と生産牛の2名が伊集院地域で就農されており、産地規模の拡大及び地域に根差した担い手として期待される。 また、就農相談会はコロナの影響により中止となったが、雇用環境の変化により帰鹿等を希望する方から個別の相談が増えており、今後の就業者の増加が期待される。					

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	➔	課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	雇用情勢によって就業希望者の増減があるため、安定した後継者・新規就業者の確保が不透明。	支援策等の情報発信に努めるとともに、関係機関・団体と連携を図り、就業に向けた支援を継続する。	

「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性

※ 課題とその改善方を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

ハウス骨材や肥料、材料費の高騰が新規就農を希望する方にとっても厳しい環境となっており、収益性を見直す必要がある。
また、国の施策が見直され、初期投資に対する支援を活用した就農支援策を展開する。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。

A : KPIに対して実績が100%以上 C : KPIに対して実績が89%~80%
 B : 99%~90% D : 80%未満

5 / 28 ページ

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和3年度実施分)

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～					
事業名	⑥新規作物の開拓支援	担当課名	農林水産課			
事業内容	1次産業の活性化や後継者、新規就農者の生産意欲の向上等を目的として、地域に適した新規作物の生産及び拡大を支援します。					

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
薬草日置栽培部会 運営補助	予算額	100,000 最終予算額	90,000 当初予算額	90,000	—	—
	執行額	100,000	90,000	—	—	—

基本目標における 数値目標		区分	数値目標				
		市内事業者従事者数 (経済センサス)	17,060人 (H28活動調査)			⇒	17,540人 (R6)
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
	薬草作物の農家数	7人	KPI 3人	3人	3人	3人	2人
		実績	4人	3人	—	—	—
		評価 (A~D)	A	A	—	—	—
当該年度の実績と 事業効果 ※ なるべく数字(金額、人数等)を用いて記入してください。		栽培面積も2.0haから3.6haと1.8倍の増加となった。出荷量としても、長雨の影響による根腐れや害虫の大量発生を受けたものの、生産額は1.8倍であった。このことから、耕作者一人一人の能力が向上したことが認められる結果であった。					

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
		<p>栽培技術の向上と、選別作業の機械化により、近年と比較すると格段に労働力削減が図れている。</p> <p>しかしながら、令和3年度においては、異常気象ともとれる長雨の影響により、根腐れ、ハスモンヨトウの大発生とこれまでに見ない被害があった。今後、このような状況下においても、生産者自身が影響後の対策をほどこすことが出来るよう、研修会等を重ねて目を養っていく必要がある。</p>

「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性
※ 課題とその改善方を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

栽培技術の確立と作業の機械化体系の確立を図り、面積と耕作者の増加を図り、産地化を目指すとともに共同選別場の設置等作業の省力化に取り組む。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
 A: KPIに対して実績が100%以上 C: KPIに対して実績が89%~80%
 B: " 99%~90% D: " 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和3年度実施分)

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
事業名	⑦農業IoTの活用	担当課名	農林水産課
事業内容	農業IoTを活用し、篤農家の栽培技術を共有し、新規就農者の確保と生産性の向上を図ります。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
—	予算額	— 最終予算額	— 当初予算額	—	—	—
	執行額	—	—	—	—	—

基本目標における 数値目標		区分		数値目標				
		市内事業者従事者数 (経済センサス)		17,060人 (H28活動調査)		⇒ 17,540人 (R6)		
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)	
	いちご若手農家の収量 (単収)をいちご部会全体平均まで向上	KPI	3,100kg	3,100kg	3,150kg	3,200kg	3,250kg	3,300kg
		実績		3,757kg	—	—	—	—
		評価(A~D)		A	—	—	—	—
	いちご部会全体の単収を5%アップ	KPI	209百万円	—	220百万円	—	—	—
		実績		—	—	—	—	—
		評価(A~D)		—	—	—	—	—
	いちご部会全体の販売高15%増	KPI	209百万円	—	—	241百万円	—	—
		実績		—	—	—	—	—
		評価(A~D)		—	—	—	—	—
当該年度の実績内容と事業効果	いちご研究会とともに環境制御技術マニュアルを作成し、炭酸ガスの有効活用による年内収量の増加及び厳寒期の生育促進に努めた(収量実績はR4年9月ごろ集約予定)							

取組の検証	事業実施における課題	課題に対する改善策
	※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。 e-kakashiでのモニタリングは管理の現状が見える化されたことで生産者の管理に変化が現れてきつつあるが、システム上での管理までは行えていない。	※ 課題の対応策を記入してください。 マニュアルに基づく作物生理の理解促進とコストを抑えた環境制御装置の導入による環境制御による効果の最大化を目指す。

「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性
 ※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

部会員への環境制御の定義と制御技術のポイントについて、理解促進に努めるとともに、環境制御を実践された優良事例の収集と技術の周知による単収の高位平準化を図る。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。

A : KPIに対して実績が100%以上 C : KPIに対して実績が89%~80%
 B : 99%~90% D : 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和3年度実施分)

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
事業名	⑧日置市らしさを感じる魅力と活力あふれるまちづくり計画（林業）	担当課名	農林水産課
事業内容	国道3号・270号を中心に主要地方道や県道にアクセスする市道24路線及び林道2路線の道路拡張等を行うことにより、観光資源を結ぶ効率的な道路網のネットワーク化をはじめ、森林施業における効率化を図ります。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
林道矢筈線全体計画作成業務委託	予算額	4,620,000	81,996,000	57,784,000	—	—
		最終予算額	最終予算額	当初予算額		
	執行額	4,620,000	22,553,000	—	—	—

基本目標における 数値目標		区分		数値目標				
		市内事業者従事者数 (経済センサス)		17,060人 (H28活動調査)		⇒	17,540人 (R6)	
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値		R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
	林業の素材生産量	16,500m³	KPI	16,600m³	16,700m³	16,800m³	16,900m³	17,000m³
			実績	11,256m³	6,389m³	—	—	—
		評価 (A~D)		D	D	—	—	—
			KPI		—	—	—	—
			実績		—	—	—	—
		評価 (A~D)			—	—	—	—
			KPI		—	—	—	—
		実績		—	—	—	—	
評価 (A~D)				—	—	—	—	
当該年度の実施内容と事業効果 ※ なるべく数字(金額、人数等)を用いて記入してください。		森林の適正な整備及び保全のため、令和3年度以降の林道矢筈線開設に向け測量設計及び用地調査業務(L=1400m)を行った。						

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。		課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	平成25年からの5年間で林業就業者が20%程度減少してきている。また高性能林業機械が入らず搬出の際に迂回する現状にあるため、木材搬出が非効率化しており早急な林道の整備が求められている。		林道整備により高性能林業機械等を使用した効率的かつ低コストな施業により林業・木材産業の生産活動の向上を図る。また、国道・県道と繋がる市道との一体化により、観光資源がネットワーク化され観光客数の増加や住民の利便性の向上を図る。

「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性

※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

整備に向け計画的に進めている。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
A: KPIに対して実績が100%以上 C: KPIに対して実績が89%~80%
B: " 99%~90% D: " 80%未満


第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和3年度実施分)

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
事業名	⑨商品開発支援事業	担当課名	商工観光課
事業内容	日置市らしい商品の開発により、ひおきブランドを確立し、地域活性化及び産業の振興を図るため、本市の特色を生かした商品の開発を行う事業者に対し、その商品開発等に係る経費の一部を支援します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
商品開発支援事業費補助金 (商品開発等に係る経費の一部を支援)	予算額	1,000,000 最終予算額	1,000,000 当初予算額	1,000,000 当初予算額	—	—
	執行額	283,000	943,000	—	—	—

基本目標における 数値目標	区分		数値目標					
	市内事業者従事者数 (経済センサス)		17,060人 (H28活動調査)		⇒	17,540人 (R6)		
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)	
	新商品開発件数 (商品開発支援事業費補助金活用件数)	2件/年	KPI	2件	2件	2件	2件	2件
			実績	2件	5件	—	—	—
		評価 (A~D)	A	A	—	—	—	
		KPI		—	—	—	—	
			実績		—	—	—	—
		評価 (A~D)		—	—	—	—	
		KPI		—	—	—	—	
			実績		—	—	—	—
		評価 (A~D)		—	—	—	—	
当該年度の取組内容と 事業効果	令和3年度商品開発支援事業費補助金については、5つの事業者が活用し、本市の特色を生かした商品開発を行った。							
※ なるべく数字 (金額、人数等) を用いて記入してください。								

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。		課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	令和3年度においては、KPIに対して実績が100%以上となった。令和3年度は補助事業を活用した事業者数が過去と比較し増加したが、この状態を維持する為にも事業の周知が課題と考えられる。		

「取組の検証 (上記)」を踏まえた今後の方向性
※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

成果・費用対効果を維持し、継続して実施

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和3年度実施分)

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
事業名	⑩薩摩国広域輸出促進事業	担当課名	商工観光課
事業内容	輸出機運と商機会の造成を推進するため、自主的なターゲット国でのフェアをはじめ、商談会や輸出セミナーを開催するとともに、県貿易協会等と連携した地域産品のプロモーション事業を行うことで、物流構築の強化と観光資源のPRを一体的に展開します。		

当該年度の予算執行内容	区分	R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (最終年)
薩摩国広域輸出促進協議会負担金	予算額	1,000,000 最終予算額	1,000,000 当初予算額	1,000,000 当初予算額	—	—
	執行額	500,000	964,000	—	—	—

基本目標における数値目標	区分		数値目標				
	市内事業者従事者数 (経済センサス)		17,060人 (H28活動調査)		⇒ 17,540人 (R6)		
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値	R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (最終年)
		薩摩国広域輸出促進事業に係る商談数 (R 4まで)	2件/年	KPI 2件 実績 8件	2件 3件	2件 —	— —
	薩摩国広域輸出促進事業に係る成約数 (R 4まで)	1件/年	KPI 1件 実績 4件	1件 20件	1件 —	— —	— —
	※参考 薩摩国広域輸出促進事業に係る川内港食品輸出取扱い金額	814,073千円 (H30)	KPI 819,073千円 実績 466,037千円	824,073千円 207,201千円	829,073千円 —	— —	— —
	※参考 薩摩国広域輸出促進事業に係る売上金額 (フェア)	0円	KPI 200,000円 実績 543,675円	200,000円 446,856円	200,000円 —	— —	— —
	当該年度の取組内容と事業効果	薩摩川内市及び阿久根市、本市の3市で薩摩国広域輸出促進協議会を設立し、事業開始。令和3年度は、貿易への機運等を高めるため、事業者向けの「貿易促進セミナー」を阿久根市で開催。また、県と連携し「うんまか鹿児島輸出商談会」をオンラインで実施し、香港及びマカオで展開する百貨店及び富裕層向けのスーパーで物産展も開催した。					
	※ なるべく数字(金額、人数等)を用いて記入してください。						

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。		課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	withコロナの取り組みとして「うんまか鹿児島輸出商談会」を初めてオンラインで開催したが、オンライン商談も一長一短あった。また、香港・マカオでの物産展も新型コロナウイルス感染症の影響で現地対応ができなかった。		新型コロナウイルス感染拡大の影響が長引く中、「withコロナ」、「afterコロナ」を見据え、事業者とも連携した上で、輸出促進に向けた新たな事業を展開する必要がある。

「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性

※ 課題とその改善方を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

ターゲット国としては、日本産農林水産物の主力輸出先であるASEAN地域の中心となる国を重視し、そのターゲット国への海外輸出プロモーション事業や、ジェトロ鹿児島・鹿児島県等と連携及び協力した事業を展開予定。また、「withコロナ」、「afterコロナ」を見据え、オンラインを活用した商談についても今後は積極的に行っていく。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
 A: KPIに対して実績が100%以上 C: KPIに対して実績が89%~80%
 B: 99%~90% D: 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和3年度実施分)

基本目標	基本目標①「働いてよし ひおき」～安心して働ける安定した「しごと」を創出する～		
事業名	①オリーブ産業プロジェクト	担当課名	農林水産課
事業内容	新たな産業創出として始まったオリーブを生産・加工・流通までの6次産業化の更なる体制を構築させることで、担い手農家のための基幹作物の位置付けをはじめ、新商品開発やイベントを通じた消費喚起による地域経済の活性化を図ります。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
試験圃場の管理、部会運営補助、小豆島からの講師謝金	予算額	3,889,000 最終予算額	4,772,000 当初予算額	3,447,000	—	—
	執行額	3,540,000	10,586,000	—	—	—

基本目標における 数値目標	区分		数値目標					
	市内事業者従事者数 (経済センサス)		17,060人 (H28活動調査)		⇒	17,540人 (R6)		
重要業績評価指標状況(KPI)	オリーブの植栽本数	基準値	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)	
		650本	KPI	720本	790本	860本	930本	1,000本
			実績	362本	74本	—	—	—
		評価(A~D)	D	D	—	—	—	
	オリーブの収穫量	4,020kg	KPI	5,832kg	7,644kg	9,456kg	11,268kg	13,080kg
			実績	499kg	2326kg	—	—	—
			評価(A~D)	D	D	—	—	—
	オリーブ栽培農家数	10人/年	KPI	10人	10人	10人	10人	10人
			実績	11人	2	—	—	—
			評価(A~D)	A	D	—	—	—
	当該年度の実績内容 と事業効果	令和3年度は、梅雨入りが例年より20日程度早くなったため、地域間の格差が発生したが、収穫量は、前年度499kg対して2,326kgであった。オイルの搾油については、従来より熟度を増した実を収穫したことにより、搾油率が4.38%から7.18%と向上した。						

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。		課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	収穫は、天候等の影響を受けやすいため、台風対策等及び適期管理作業の周知 新規栽培農家の推進及び既存農家の増植推進が課題である。		薬剤散布(葉面散布等)による発芽・発育・着果の促進を図るため、試験圃場及び部会員圃場で試験を実施する。 適期管理が重要であるため、適期管理作業の通知や定期的に巡回し、個別指導を行う。 新規栽培希望者向けに説明会を実施する。

「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性 ※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。
・各時期ごとの管理作業の周知及び発芽・発育・着果促進を図るため、葉面散布等による試験及び技術の確立。 ・栽培農家以外への情報発信 ・新規栽培者の増に向けての説明会の開催。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
 A：KPIに対して実績が100%以上 C：KPIに対して実績が89%～80%
 B： 99%～90% D： 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和3年度実施分)

基本目標	基本目標②「住んでよし ひおき」～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～		
事業名	⑫母子保健事業（不妊治療関係事業）	担当課名	健康保険課
事業内容	・安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりを推進するとともに、不妊に悩む夫婦の精神的負担及び経済的負担の軽減を図るため、不妊治療の助成を行います。 ・産後の体調や育児に不安のある母子を対象に、心身のケアや子育て環境を整えるノウハウなどの支援を受けられるよう助産所等の入所費用の一部助成を行います。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
【母子保健事業】 ・特定不妊、一般不妊治療助成事業 ・産後ケア事業（宿泊・日帰り・訪問）	予算額	6,982,000 最終予算額	8,100,000 当初予算額	10,130,000 当初予算額	—	—
	執行額	5,362,340	6,238,866	—	—	—

基本目標における 数値目標	区分		数値目標					
	合計特殊出生率 (5年平均)		1.62 (H29) ⇒ 1.68 (R6)					
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)	
	※ 参考 母子保健事業での不妊治療件数	KPI	68件 (H30)	—	—	—	—	—
		実績		68人	65人	—	—	—
		評価 (A~D)		—	—	—	—	—
	※ 参考 母子保健事業利用者の妊娠率	KPI	44.1% (H30)	—	—	—	—	—
		実績		44.9%	55.4%	—	—	—
		評価 (A~D)		—	—	—	—	—
	※ 参考 母子保健事業の出産率	KPI	30.9% (H30)	—	—	—	—	—
		実績		22.1%	35.4%	—	—	—
		評価 (A~D)		—	—	—	—	—
	当該年度の実施内容 と事業効果	【母子保健事業】 妊娠率：妊娠に至った数36件 / (一般不妊治療42件実人数+特定不妊治療23件実人数) = 55% 妊娠したうち出産件数23件（一般17件、特定6件）（令和4年6月末現在）						

取組の検証	事業実施における課題	課題に対する改善策
	※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	※ 課題の対応策を記入してください。
	不妊治療は早い段階からの治療が有効であるが、治療開始が遅い傾向にある。 産後ケアを必要と思われるケースが増加しているが、利用率が低い。	不妊治療助成事業の啓発とともに、不妊について正しい知識の普及、相談体制の整備を行う。産後ケア事業については、さらなる事業の普及啓発等、多くの方が利用できるよう推進する。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性
 ※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

令和4年度から特定不妊治療等が保険診療対応となり、日置市では自己負担分を助成していく予定であるが、まだ経済的負担も大きいと、制度の普及啓発を広く行い、早い段階から治療に取り組めるよう今後も事業を継続する。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
 A：KPIに対して実績が100%以上 C：KPIに対して実績が89%～80%
 B： " 99%～90% D： " 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和3年度実施分)

基本目標	基本目標②「住んでよし ひおき」～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～		
事業名	⑬マタニティボックス配布事業	担当課名	健康保険課
事業内容	赤ちゃんの誕生を祝い、今後の健やかな成長を願うことを目的として、地元企業と連携し赤ちゃんグッズ等が入ったマタニティボックスを配布することで子育てしやすいまちづくりを目指します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
赤ちゃんが生まれた世帯に、子育てに必要な実用品等を詰め合わせた「マタニティボックスひおきコウノトリ便」を配布	予算額	7,000,000 最終予算額	7,000,000 当初予算額	7,000,000 当初予算額	—	—
	執行額	7,000,000	7,000,000	—	—	—

基本目標における 数値目標		区分		数値目標				
		合計特殊出生率 (5年平均)		1.62 (H29)		⇒	1.68 (R6)	
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値	/	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
	子育て世代(25～39歳)の人数(住民基本台帳)	6,233人	KPI	6,046人	5,865人	5,689人	5,518人	5,352人
			実績	6,019人	6,002人	—	—	—
			評価(A～D)	B	A	—	—	—
	マタニティボックスの満足度(満足・やや満足と回答された方の割合)	90.00%	KPI	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
			実績	95%	94%	—	—	—
			評価(A～D)	A	A	—	—	—
			KPI	—	—	—	—	—
			実績	—	—	—	—	—
			評価(A～D)	—	—	—	—	—
当該年度の実施内容と事業効果		出生届出時に受け取り方法を確認し、全数手渡し、受け取られた方の反応を確認する機会となった。後日アンケートを配布・回収し、「満足」「やや満足」とした方は93%であった。市の特産品(焼き物やオリーブ石けん)が入っているうれしかった、他市にない事業で日置市でよかったとの意見を多くいただいた。						

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。		課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	アンケートを実施し市民ニーズを把握しながら、満足の高い内容について検討していきたい。物価が上がってきており、予算か内容の検討が必要。		アンケート結果など市民ニーズに応じた内容の検討、事業のPRを行い、物価の上昇をカバーできるよう寄附等に多くつなげられるような機会を設ける。

「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性
 ※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

他市にない取り組みであり、市民の満足度も高く、市内企業との連携を図りながら今後も事業を継続する。

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和3年度実施分)

基本目標	基本目標②「住んでよし ひおき」～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～		
事業名	⑭子ども医療費の助成	担当課名	こども未来課
事業内容	経済的負担の軽減を図るため、子ども医療費の助成を「中学卒業まで」引き続き実施します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
保険料診療に係る一部負担金の助成	予算額	127,700,000 最終予算額	144,000,000 当初予算額	144,000,000 当初予算額	—	—
	執行額	127,764,911	133,069,419	—	—	—

基本目標における 数値目標	区分		数値目標					
	合計特殊出生率 (5年平均)		1.62 (H29)		⇒	1.68 (R6)		
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)	
		KPI						—
		実績	—	—	—	—	—	—
		評価 (A~D)	—	—	—	—	—	—
		KPI	—	—	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—	—	—
		評価 (A~D)	—	—	—	—	—	—
		KPI	—	—	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—	—	—
		評価 (A~D)	—	—	—	—	—	—
	当該年度の実績と事業効果		3月末(実績見込) 22,478件 133,069,419円					
	※ なるべく数字(金額、人数等)を用いて記入してください。							

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。		課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	他の制度(ひとり親家庭医療費助成制度、重度心身障がい者医療費助成制度、災害共済給付制度、健康保険組合等)との重複防止策を講じる。		関係課及び関係機関との連携。

「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性
 ※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和3年度実施分)

基本目標	基本目標②「住んでよし ひおき」～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～		
事業名	⑮ひおきふるさと教育の推進	担当課名	学校教育課
事業内容	本市の伝統文化、人物、自然や産業といった魅力ある素材を学習内容とした授業を展開し、児童生徒がふるさとに対する理解を深め、その学習活動を通して、「礼節」、「郷土愛」、「自然愛」、「奉仕」といった道徳性を身につけられるよう風格ある教育を推進します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (最終年)
印刷製本・補助金	予算額	2,524,000 最終予算額	2,991,000 当初予算額	2,534,000	—	—
	執行額	1,923,220	2,410,138	—	—	—

基本目標における 数値目標	区分		数値目標					
	合計特殊出生率 (5年平均)		1.62 (H29)		⇒	1.68 (R6)		
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値	R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (最終年)	
	子どもが地域の行事に参加した割合（全国学力・学習状況調査） 小学生	県平均 72.7%	KPI	72.70%	72.70%	72.70%	72.70%	72.70%
			実績	—	80%	—	—	—
		評価 (A~D)	—	A	—	—	—	
	子どもが地域の行事に参加した割合（全国学力・学習状況調査） 中学生	県平均 54.2%	KPI	54.20%	54.20%	54.20%	54.20%	54.20%
			実績	—	53.60%	—	—	—
		評価 (A~D)	—	B	—	—	—	
	「ひおき学」に係る市民への周知（情報発信）	2回/年	KPI	2回	2回	2回	2回	2回
			実績	2回	7回	—	—	—
		評価 (A~D)	A	A	—	—	—	
当該年度の実施内容 と事業効果	「ひおき学」「環境」等の学習ブックを配布し、各学校で指導を行った。また、「わが町ひおき検定」を行い、全校（22校）で1542人（前年度+79）の児童生徒が取り組んだ。なお、小中一貫教育に係る学校間兼務は、47件（前年-37件）だった。さらに、小中一貫教育の研修会では、外部人材を講師として招聘し、先進的な取組について、各学校の管理職に紹介することができた。							

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	➔	課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	コロナウイルス蔓延防止を優先させたため、人的交流が制限され、小中の授業交流を充実させることができなかった。		今後は、アフター・コロナに向けて、小・中連携を充実させることができるよう、モデル事業や職員研修の充実をさらに図る。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性
 ※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

- ・ 「小・中一貫教育」に係る3つの校区（伊集院中校区、伊集院北中校区、日吉学園）の研究公開を通して、研究の成果を日置市の教職員に還元する。
- ・ 小中一貫教育の研修会において、それぞれの学校の取組内容を共有できる機会を作る。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
 A：KPIに対して実績が100%以上 C：KPIに対して実績が89%～80%
 B： 99%～90% D： 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和3年度実施分)

基本目標	基本目標②「住んでよし ひおき」～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～		
事業名	⑩子ども支援センターの充実	担当課名	学校教育課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床心理士の配置等により子どもたちやその保護者に対するきめ細かい相談支援体制の強化を図ります。 ・各種相談機関との連携をはじめ、総合的な相談支援の充実と強化に取り組みます。 		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
子ども支援センター事業費 ふれあい教室事業費	予算額	14,724,000	10,023,000	10,847,000	—	—
	最終予算額		最終予算額	当初予算額		
	執行額	14,316,890	9,380,495	—	—	—

基本目標における 数値目標	区分		数値目標					
	合計特殊出生率 (5年平均)		1.62 (H29)			⇒	1.68 (R6)	
重要業績評価指標状況 (KPI)	子ども支援センター支援者に対する研修会の開催数	基準値	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)	
		—						KPI
		実績	1回	1回	—	—	—	
		評価 (A~D)	A	A	—	—	—	
	子ども支援センターの相談に対する改善割合	80.00%	KPI	80.00%	80.00%	80.00%	80.00%	80.00%
		実績	79.66%	77.19	—	—	—	
		評価 (A~D)	B	B	—	—	—	
		KPI	—	—	—	—	—	
		実績	—	—	—	—	—	
		評価 (A~D)	—	—	—	—	—	
	当該年度の実績内容 と事業効果	・講演会は、開催直前でコロナ感染拡大により中止、指導者研修会は、コロナ感染防止のため参加者を制限して、1回(12/2、参加者64人)実施した。コロナ禍により来所相談や家庭訪問等の対面相談が減る中でも、教育相談員による巡回訪問(425回)、SSWによる学校訪問(511回)、臨床心理士によるカウンセリング及び相談員等とのコンサルテーション(195回)等を行い、児童生徒や保護者等からの各種相談へのきめ細かな対応に努めた。令和3年度は、年間相談者数(342人)延べ相談回数(6012回)だった。						

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。		課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	・子ども支援センターへの相談者が増えるに伴い、その相談内容も、虐待相談やメンタル面の相談、生活困窮等の家庭環境、不登校など短期・長期に継続的支援が必要なものが増えている。関係課・各機関等と連携しての継続的・重層的支援が不可欠になっている。	・近年増えている虐待事案や要支援家庭への支援策の協議のため、子育て包括支援センターと連携して、定期的な地域連絡会(支所単位でのケース会議 年12回)や、要対協の実務者会議を年3回を児童相談所や警察署、児童養護施設、主任児童委員等を交えて開催している。	

「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性
 ※ 課題とその改善方を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

・子ども支援センターの総合相談窓口(ワンストップ)としての機能を一層高めたい。特に、緊急性の高い相談や複合的な問題を抱える事案に的確に対応するため、新設されたこども未来課や子育て包括支援センター、子ども家庭総合支援拠点との連携強化に一層努めたい。そのため、「健康かるて」(要保護児童等情報共有システム)を活用しての各支援者間の情報共有・支援方針の相互確認を定期的に行っていききたい。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
 A: KPIに対して実績が100%以上 C: KPIに対して実績が89%~80%
 B: 99%~90% D: 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和3年度実施分)

基本目標	基本目標②「住んでよし ひおき」～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～		
事業名	⑰過疎地域移住定住促進事業	担当課名	地域づくり課
事業内容	市外から定住を目的に本市に転入し、補助対象地区に移住した場合、一定要件を満たす方に対して助成し、加えて子育て世帯や地元業者による新築等で移住した場合には助成金上限額を増額します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (最終年)
コロナ対策による9月補正減額を実施。令和3年度予算編成方針に基づき、来年度より補助単価の減額を実施。	予算額	20,000,000	21,700,000	12,000,000	—	—
	最終予算額	最終予算額	最終予算額			
	執行額	16,300,000	21,700,000	—	—	—

基本目標における 数値目標		区分		数値目標				
		合計特殊出生率 (5年平均)		1.62 (H29)		⇒ 1.68 (R6)		
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値	R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (最終年)	
	過疎地域移住定住促進事業利用者のうち移住者数	KPI	74人	74人	74人	74人	74人	74人
		実績	87人	118人	—	—	—	—
		評価(A~D)	A	A	—	—	—	—
		KPI	—	—	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—	—	—
		評価(A~D)	—	—	—	—	—	—
	KPI	—	—	—	—	—	—	
	実績	—	—	—	—	—	—	
	評価(A~D)	—	—	—	—	—	—	
当該年度の実績と事業効果 ※ なるべく数字(金額、人数等)を用いて記入してください。	令和3年度に補助単価を引き下げ事業実施をしたが、コロナ禍の影響から地方移住の機運が高まり、事業の活用者は増加。世帯数37(前年比+7)、人数118人(前年比+31)の実績となった。							

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。		課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	令和4年度から、事前の移住計画承認が必要とし、かつ補助対象地区の補助単価を20万円に統一するが、減額に伴い事業活用が減少するという想定はしていない。		

「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性
 ※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

補助単価の見直しを行います。基本額を対象地区すべて20万円に減額。
 ※いちき串木野市は令和2年度より廃止。鹿児島市は無し。始良市は、限界集落のみ対象。

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和3年度実施分)

基本目標	基本目標②「住んでよし ひおき」～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～		
事業名	⑩空き家改修補助事業	担当課名	地域づくり課
事業内容	市内の空き家等を居住又は簡易宿所として活用する場合、改修・リフォーム費用等の補助を行い、加えて地元業者による施工の場合は、補助上限額を増額します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
コロナ対策による9月補正減額を実施。令和3年度予算編成方針に基づき、来年度より補助単価の減額を実施。	予算額	7,000,000 最終予算額	10,000,000 当初予算額	10,000,000	—	—
	執行額	4,267,000	8,602,000	—	—	—

基本目標における 数値目標	区分		数値目標					
	合計特殊出生率 (5年平均)		1.62 (H29)			⇒	1.68 (R6)	
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)	
	空き家改修補助事業利用者のうち移住者数	6人/年	KPI	6人	6人	6人	6人	6人
			実績	10人	25人	—	—	—
		評価(A~D)	A		A	—	—	—
	空き家改修事業のうち補助件数	9件/年	KPI	9件	9件	9件	9件	9件
			実績	16件	28件	—	—	—
		評価(A~D)	A		A	—	—	—
当該年度の取組内容と事業効果 ※ なるべく数字(金額、人数等)を用いて記入してください。		KPI	—	—	—	—	—	
		実績	—	—	—	—	—	
	評価(A~D)	—		—	—	—	—	

令和3年度において、コロナ禍の影響による地方移住の機運が高まり、空き家活用事業を後押しする形となった。令和2年度より、移住者数、補助件数とどちらも増加傾向にある。令和3年度計画承認数は20件(うち申請10件)

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	令和3年度と補助単価の変更はなく、空き家バンクの問い合わせ等が増えていることから、今後も活用は進むと考えている。	本事業や空き家バンクに関する問い合わせ等が増えていることから、今後も継続したPRや取組が必要と考える。

「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性
※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

特段の変更は必要ないと考える。ただし、年々利用が伸びてくると考えられるため、予算確保をどのように進めるか市として検証する必要があると考える。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
 A：KPIに対して実績が100%以上 C：KPIに対して実績が89%~80%
 B： " 99%~90% D： " 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和3年度実施分)

基本目標	基本目標③「訪ねてよし ひおき」～ひおきへの新しい人の流れをつくる～		
事業名	⑯バスツアーの充実	担当課名	商工観光課
事業内容	バスツアーを通じて本市の隠れた観光名所や古民家、季節ごとに楽しむことができる魅力等、多くの人に本市の良さを認知してもらい、交流人口の増加と口コミによる拡散を目指します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (最終年)
観光関係者向けのモニターツアーの実施(1回)	予算額	100,000 最終予算額	1,050,000 最終予算額	500,000 当初予算額	—	—
	執行額	100,000	1,050,000	—	—	—

基本目標における 数値目標	区分	数値目標
	観光地・観光施設 年間来訪者数	231万人 (R1) ⇒ 250万人 (R6)

重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値	区分	R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (最終年)	
	域外からのバスツアー受入れ人数(市観光協会、ガイド協会の受入れ人数)	1,745人/年		KPI		1,756人	1,767人	1,778人	1,789人
			実績		1,589人	1,750人	—	—	—
評価(A~D)				B	B	—	—	—	
		KPI		—	—	—	—	—	
		実績		—	—	—	—	—	
	評価(A~D)				—	—	—	—	
		KPI		—	—	—	—	—	
		実績		—	—	—	—	—	
	評価(A~D)				—	—	—	—	
当該年度の実行内容及事業効果		幅広い年齢層が、季節を問わず、日置市内だけで充実した観光ができるような体験プログラム等の磨き上げを行うため、新規観光素材調査やモニターツアーを実施した。参加者 12名(参加団体 10団体)							

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。		課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	団体旅行から個人旅行へのシフトに加え、新型コロナウイルス感染症の影響によりツアー実施が困難であった。再開までには一定期間要すると思われるため、個人周遊を促進するための取り組みが必要。		アフターコロナを見据え、今回開拓した体験プログラムを、さらに拡充するとともに広く発信し、今後のマイクロツーリズム需要の高まりに備える。

「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性
※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

コロナ禍におけるマイクロツーリズムへの高まりから、近場で楽しめる場所をより多く提供するため、体験メニューの磨き上げと新規開拓を含めた情報の一元化とプロモーションの強化を図り、多角的な誘客促進に努めながら、少人数旅行への対応を強化する。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。

- A : KPIに対して実績が100%以上 C : KPIに対して実績が89%~80%
B : " 99%~90% D : " 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和3年度実施分)

基本目標	基本目標③「訪ねてよし ひおき」～ひおきへの新しい人の流れをつくる～		
事業名	㊸スポーツ合宿の助成	担当課名	商工観光課
事業内容	スポーツ及び文化等の団体が市内の宿泊施設を利用し、合宿等を行う場合に宿泊費用の一部を助成します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (最終年)
合宿を誘致し活性化に資するため、合宿等を行った団体に対して補助を行う。	予算額	4,349,000	6,500,000	8,466,000	—	—
	執行額	3,448,000	5,508,000	—	—	—

基本目標における 数値目標		区分		数値目標				
		観光地・観光施設 年間来訪者数		231万人 (R1)		⇒ 250万人 (R6)		
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値	R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (最終年)	
	スポーツ合宿数(補助金 利用延べ人数)	KPI	8,400人	8,450人	8,500人	8,550人	8,600人	
		実績	3,448人	6,197人	—	—	—	
			評価(A~D)	D	D	—	—	—
		KPI	—	—	—	—	—	
		実績	—	—	—	—	—	
			評価(A~D)	—	—	—	—	—
		KPI	—	—	—	—	—	
実績		—	—	—	—	—		
		評価(A~D)	—	—	—	—	—	
当該年度の実施内容 と事業効果		・スポーツ・文化合宿誘致事業 利用団体数：96団体、6,197人 交付額：6,109千円 (参考) 令和元年度実績 152団体、9,058人 交付額：8,466千円 令和2年度実績 54団体、3,448人 交付額：3,448千円						

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	➔	課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	令和2年度より若干の回復は見られるが、依然として新型コロナウイルス感染症の影響により制度利用団体が減少している。		

「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性
 ※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

長引く新型コロナウイルス感染症の影響で今後の見通しは厳しい状況であるが、徐々に大会等が再開されており、地域コミッション団体等とも連携した誘客回復への営業強化を図り、利用促進に努める。なお、ひおき時間を楽しもうキャンペーンも延長することから、長期的な支援による利用回復に努める。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。

A : KPIに対して実績が100%以上

C : KPIに対して実績が89%～80%

B : " 99%～90%

D : " 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和3年度実施分)

基本目標	基本目標③「訪ねてよし ひおき」～ひおきへの新しい人の流れをつくる～				
事業名	②観光PR武将隊プロジェクト	担当課名	商工観光課		
事業内容	戦国島津ゆかりの地である本市を武将のまちとしてイメージ戦略を図り、様々なイベント・行事等で甲冑姿の武将隊が観光プロモーションを行うことで、武将として体験できるまちづくりを目指します。				

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
コロナ禍において事業内容を見直し、情報発信ツールの拡充を図る。公用封筒作成やパンフレット等を作成。	予算額	10,064,000 最終予算額	12,285,000 最終予算額	4,894,000 当初予算額	—	—
	執行額	9,793,960	11,234,500	—	—	—

基本目標における数値目標		区分		数値目標						
		観光地・観光施設年間来訪者数		231万人 (R1)			⇒	250万人 (R6)		
重要業績評価指標状況(KPI)	KPIの内容	基準値	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)			
	プロジェクト専用SNSフォロワー数 (Facebook, Instagram, Twitter)	420人/年	KPI	420人	450人	500人	500人	500人		
			実績	1,052人	1,578人	—	—	—		
			評価(A~D)	A	A	—	—	—		
	甲冑体験活動拠点への来訪者数	1,080人/年	KPI	1,080人	1,100人	1,200人	1,300人	1,300人		
			実績	546人	885人	—	—	—		
			評価(A~D)	D	C	—	—	—		
			KPI	—	—	—	—	—		
			実績	—	—	—	—	—		
			評価(A~D)	—	—	—	—	—		
当該年度の実施内容と事業効果 ※なるべく数字(金額、人数等)を用いて記入してください。		情報発信ツールの拡充 ・武将隊プリントの公用封筒作成(角2:2,000部、長3:60,000部) ・プロモーション活動等(県内各イベント) ・歴史雑誌広告掲載(よしとし軍議場) ・VRチャンバラ導入								
取組の検証	事業実施における課題 ※KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。			課題に対する改善策 ※課題の対応策を記入してください。						
	昨年度に引き続きコロナの影響が残り、対外的なプロモーションの機会やよしとし軍議場への来館者数に影響があった。しかし、アフターコロナを見据えたコンテンツの充実を図り、マイクロツーリズム獲得への準備を図った。			まだ新型コロナウイルス感染拡大の不安が残る状況ではあるが、これまで整備してきたプロジェクトに係るコンテンツを生かし、広く発信して、今後高まると予測されるマイクロツーリズム需要を獲得する。						
「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性 ※課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。										
現時点での認知度が低いため、継続的なプロモーションを強化しながら、有料広告等も活用した誘客促進に努めるとともに、実証事業で得た結果をもとに来訪者満足度が高まるコンテンツ造成を目指す。財源調達の状況等も考慮しながら、フレキシブルに事業内容を見直しつつ、今できる最大限の事業を展開できるよう対応する。										

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。

A: KPIに対して実績が100%以上 C: KPIに対して実績が89%~80%
 B: " 99%~90% D: " 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和3年度実施分)

基本目標	基本目標③「訪ねてよし ひおき」～ひおきへの新しい人の流れをつくる～		
事業名	⑧日置市らしさを感じる魅力と活力あふれるまちづくり計画（市道）	担当課名	建設課
事業内容	国道3号・270号を中心に主要地方道や県道にアクセスする市道24路線及び林道2路線の道路拡張等を行うことにより、観光資源を結ぶ効率的な道路網のネットワーク化をはじめ、森林施業における効率化を図ります。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
令和2年度繰越において、市道15路線の設計及び工事、用地取得等の業務を執行し、令和3年度現年においては市道11路線の設計及び工事、用地取得等の業務を執行した。	予算額	590,000,000	1,055,349,000	749,241,000	—	—
		最終予算額	R2繰越+当初予算額	R3繰越+当初予算額		
	執行額	95,742,750	536,091,067	—	—	—

基本目標における数値目標	区分		数値目標						
	観光地・観光施設年間来訪者数		231万人 (R1)	⇒	250万人 (R6)				
重要業績評価指標状況（KPI）	KPIの内容	基準値		R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)	
		(再掲)観光地・観光施設年間来訪者数	KPI	231万人 (R1)	244万人	246万人	247万人	249万人	250万人
			実績		205万人	209万人	—	—	—
		評価(A~D)		C	C	—	—	—	
	(再掲)過疎地域移住定住促進事業利用者のうち移住者数	KPI	63人/年	74人	74人	74人	74人	74人	
		実績		87人	118人	—	—	—	
		評価(A~D)		A	A	—	—	—	
	当該年度の実績	KPI		—	—	—	—	—	
		実績		—	—	—	—	—	
		評価(A~D)		—	—	—	—	—	
当該年度の実績と事業効果 ※なるべく数字(金額、人数等)を用いて記入してください。		令和3年度において、国道3号及び270号を中心に、観光周遊ルートやアクセス道の道路幅等の整備を進めた。その結果、移住・定住者が増えた一方で、豪雨及び新型コロナウイルス等の影響により、観光入込客数は減少している。 R3計画路線：14路線（東市来地域の県道養母長里線と仙名伊集院線アクセス道路、吹上人工芝サッカー場周辺道等の整備）							

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	当該計画において、美山インターチェンジのフル化を計画しているが、新型コロナウイルス等の影響による市の財政状況を鑑み、着手延期を見込んでいる。	工種を道路改良から舗装修繕へ計画を見直し、老朽化した観光周遊ルートやアクセス道の整備を実施と対象路線の増により、事業促進を図る。

「取組の検証（上記）」を踏まえた今後の方向性 ※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。
計画変更にあたり、今年度の中間評価を検証し、必要に応じて内閣府協議が必要と考えられる。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
 A：KPIに対して実績が100%以上 C：KPIに対して実績が89%～80%
 B： " 99%～90% D： " 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和3年度実施分)

基本目標	基本目標③「訪ねてよし ひおき」～ひおきへの新しい人の流れをつくる～		
事業名	②ひおきの民創出プロジェクト	担当課名	地域づくり課
事業内容	市外住民とつながり、関係を深めるプロジェクト。関係人口＝ファンととらえ、市公式ファンクラブ「ひおきカメカメ団」を設立。お試し住宅カメハウスを「関係深化」の拠点と位置づけ、運営団体と密な連携を行っている。LR株式会社も事務局として参画している。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
令和2年度、国の関係人口創出モデル事業は不採択。コロナ禍での事業立上げはせず、令和3年度開始を目指す。	予算額	0	19,098,000	8,326,000	—	—
	執行額	0	19,098,000	—	—	—

基本目標における 数値目標	区分		数値目標					
	観光地・観光施設 年間来訪者数		231万人 (R1)	⇒	250万人 (R6)			
重要業績評価指標 状況 (KPI)	KPIの内容	基準値	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)	
	ひおきの民登録者数	100人/年	KPI	50人	100人	100人	100人	100人
			実績	0人	89人	—	—	—
		評価 (A～D)	D	C	—	—	—	
	お試し居住利用日数	100日/年	KPI	50日	100日	100日	100日	100日
			実績	0日	7日	—	—	—
評価 (A～D)		D	D	—	—	—		
当該年度 の取組内容 と 事業効果		KPI	—	—	—	—	—	
		実績	—	—	—	—	—	
	評価 (A～D)	—	—	—	—	—		

プロジェクト初年度の令和3年度は以下の2点を整備。WEBサイト・制度開始は10月21日。お試し住宅は順次オープンするも、予約システムの本稼働はR4. 3. 30。①WEBサイト設立、②お試し住宅4ヶ所整備

※ なるべく数字(金額、人数等)を用いて記入してください。

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	➔	課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	<p>実質制度開始が10月末だったので、半年で登録者89人は好調だったと考える。お試し住宅はこれからであるが、先行オープン(12/3日～予約開始)した「赤いえんとつの家」では利用が見られた。</p>	<p>市と協働協定を締結し、連携したLR株式会社及び各お試し住宅運営団体。この関係性をもっと深めながらチームとして、関係人口(カメカメ団)を増やしていく必要がある。</p>	

「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性

※ 課題とその改善方を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

実行体制の強化。関係人口の接点は多岐にわたり、つながり方・手法も選択肢は非常に多い。本プロジェクトの実行は、社会実験的な要素が多いので、より風通しのよい実行体制の整備が必要であると考え。

- 庁内PT設置 (R4) 、 ●協力企業との体制構築 (LRとの包括的連携協定)

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。

A : KPIに対して実績が100%以上 C : KPIに対して実績が89%～80%
B : " " 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和3年度実施分)

基本目標	基本目標④「ふれあいあふれてよし ひおき」～地域の連携を深め、若者から高齢者まで、安心して暮らせるまちをつくる～		
事業名	②公共交通の維持・確保	担当課名	地域づくり課
事業内容	市民の移動手段を確保するため、交通不便地域での乗合タクシーやコミュニティバス事業を継続して実施します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
乗合タクシー運行事業（全地域）、コミュニティバス運行事業（伊集院、東市来、吹上地域）を交通事業者に委託し、地域住民の移動手段の確保を行った。	予算額	39,000,000 最終予算額	38,700,000 当初予算額	40,890,000	—	—
	執行額	36,417,919	38,133,768	—	—	—

基本目標における 数値目標	区分	数値目標				
	市民アンケート満足度 (日置市の住みやすさ)	70.5% (R1) ⇒ 75.0% (R6)				

重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値	区分				
			R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
※参考 者延数	公共交通の利用者延数	39,382人 (H30)	KPI —	—	—	—	—
		実績	29,472人	27,590人	—	—	—
		評価 (A~D)	—	—	—	—	—
		KPI	—	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—	—
		評価 (A~D)	—	—	—	—	—
		KPI	—	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—	—
		評価 (A~D)	—	—	—	—	—
	当該年度の取組内容と事業効果 ※なるべく数字(金額、人数等)を用いて記入してください。	乗合タクシー利用者延べ数【R3】8,190人(対前年度比-377人) コミュニティバス利用者延べ数【R3】19,400人(対前年度比-1,505人) コロナ禍による利用控えが見られ、利用が低調となっている。					

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	人口減少に伴い、公共交通利用者の減少も進んでいるが、高齢化に伴う運転免許証自主返納者の増加など、移動手段の確保が必要な方々への対応は重要な政策のため、持続可能な公共交通の構築を図る。	令和3年度に日置市公共交通計画(マスタープラン)を策定。全12事業を掲げ、その中でもコミュニティバス、乗合タクシーの地域内交通に注力する内容も盛り込んでおり、コミュニティバス路線の見直し、乗合タクシーの充実を図り、市民及び来訪者等の利用促進を図る。

「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性
 ※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

「日置市地域公共交通計画」に掲げる方針、将来像に基づきコミュニティバス、乗合タクシーの事業見直し念頭に「日置市地域公共交通会議」で議論していく。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。

A : KPIに対して実績が100%以上 C : KPIに対して実績が89%~80%
 B : 99%~90% D : 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和3年度実施分)

基本目標	基本目標④「ふれあいあふれてよし ひおき」～地域の連携を深め、若者から高齢者まで、安心して暮らせるまちをつくる～		
事業名	④自主防災組織の充実・強化	担当課名	総務課
事業内容	地域の防災力を充実・強化するため、防災知識の普及啓発など自主防災組織に対する支援を行います。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
各自主防災組織への補助金の交付	予算額	2,650,000 最終予算額	5,650,000 当初予算額	4,650,000	—	—
	執行額	2,617,000	3,226,200	—	—	—

基本目標における 数値目標	区分		数値目標				
	市民アンケート満足度 (日置市の住みやすさ)		70.5% (R1) => 75.0% (R6)				
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
	自主防災組織加入率 (2%アップ)	KPI	86.10%	91.00%	94.00%	96.00%	98.00%
		実績	88.00%	88.10%	—	—	—
	評価 (A~D)		A	B	—	—	—
		KPI	—	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—	—
	評価 (A~D)		—	—	—	—	—
		KPI	—	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—	—
	評価 (A~D)		—	—	—	—	—
当該年度を取組内容と事業効果 ※ なるべく数字(金額、人数等)を用いて記入してください。		H28.4.1 組織数135 加入率83.3% H29.4.1 組織数145 加入率85.5% H30.4.1 組織率148 加入率87.9%		H31.4.1 組織率148 加入率87.9% R2.4.1 組織率149 加入率88.0% R3.4.1 組織率149 加入率88.1% R4.4.1 組織率151 加入率88.3%			

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。		課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	前年度同様、コロナ禍での支援となり、文書での組織結成の呼びかけ、自治会長とのやり取りしかできず、会合などで、未結成組織内の住民に幅広く説明ができなかった。		

「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性
 ※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

防災士からの協力を得ながら、防災訓練の活動の支援を行っていく。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
 A : KPIに対して実績が100%以上 C : KPIに対して実績が89%~80%
 B : 99%~90% D : 80%未満

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和3年度実施分)

基本目標	基本目標④「ふれあいあふれてよし ひおき」～地域の連携を深め、若者から高齢者まで、安心して暮らせるまちをつくる～		
事業名	㊸地区振興計画の推進	担当課名	地域づくり課
事業内容	地区公民館が策定した地区振興計画に基づき、公共的課題の解決を地区公民館と市との協働で進めます。対象事業は、地区活力の維持・存続に係るソフト事業等で、健康づくり・地域見守り等の支援を行います。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
26地区公民館が策定した第5期地区振興計画に基づき、地域づくり推進事業のソフト事業を実施する。(令和3年度～令和5年度までの3年計画により年次的に実施)	予算額	127,508,593 最終予算額	67,500,000 当初予算額	67,500,000	—	—
	執行額	127,508,593	46,720,862	—	—	—

基本目標における 数値目標	区分		数値目標					
	市民アンケート満足度 (日置市の住みやすさ)		70.5% (R1)		⇒	75.0% (R6)		
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)	
	地区別の住民の各地域に対する愛着度(地区振興計画アンケート調査)	—	KPI	—	—	—	70.0%	—
		—	実績	—	—	—	—	—
		評価(A~D)		—	—	—	—	—
		—	KPI	—	—	—	—	—
		—	実績	—	—	—	—	—
		評価(A~D)		—	—	—	—	—
		—	KPI	—	—	—	—	—
		—	実績	—	—	—	—	—
		評価(A~D)		—	—	—	—	—
	当該年度の実施内容 と事業効果		ソフト事業では、地区住民のニーズに合わせた柔軟な仕組みづくりや地域資源を活用した事業が生まれ、地区の課題解決が推進された。(高齢者見守り：元気お知らせ旗の掲揚等 買物支援：タクシー事業所委託に併せた地区支援者の登録 健康づくり：登山道の整備に併せた登山大会の実施等)					

取組の検証	事業実施における課題	課題に対する改善策
	※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。 <div style="text-align: right; color: red; font-size: 2em; margin-top: 10px;">➔</div>	※ 課題の対応策を記入してください。
	事業執行に対するハード・ソフトの割合が第4期計画では70～30%の割合で調整可能としていたが、第5期計画からはソフト事業一本化した。コロナ禍により事業の縮小・中止を余儀なくされた地区が多かった。	ソフト事業を活用した地域の課題や資源の有効利用など、人口減少社会の中で、第5期地区振興計画では、必須事業を健康づくりと見守りの2事業とし、地区の身の丈にあった無理のない仕組みづくりを行った。

「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性
 ※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

2以上の複数の地区が地区を超えた広域的な取り組みを推進し、小規模地区において、人的環境等を相互に補完することで新たな事業の創出、または現行事業の取り組みの拡大若しくは持続、維持を図る。

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和3年度実施分)

基本目標	基本目標④「ふれあいあふれてよし ひおき」～地域の連携を深め、若者から高齢者まで、安心して暮らせるまちをつくる～		
事業名	⑤生ごみ回収事業	担当課名	市民生活課
事業内容	家庭などから排出される生ごみを回収し、堆肥化することで、環境にやさしい循環型社会を目指します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (最終年)
生ごみの回収、堆肥化に伴う委託料及び報償金	予算額	67,504,000 最終予算額	70,067,000 当初予算額	67,381,776	—	—
	執行額	66,790,190	61,809,809	—	—	—

基本目標における 数値目標		区分		数値目標					
		市民アンケート満足度 (日置市の住みやすさ)		70.5% (R1)		⇒		75.0% (R6)	
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値	/	R 2 (1年目)	R 3 (2年目)	R 4 (3年目)	R 5 (4年目)	R 6 (最終年)	
	生ごみ回収対象世帯数	12,929戸 (H30)	KPI		13,000戸	14,400戸	15,800戸	17,200戸	18,600戸
			実績		13,747戸	13,973戸	—	—	—
			評価 (A~D)		A	B	—	—	—
	生ごみ回収量	1,050 t (H30)	KPI		1,174t	1,298t	1,442t	1,569t	1,697t
			実績		1,010t	1,027t	—	—	—
			評価 (A~D)		C	D	—	—	—
	当該年度の取組内容 と事業効果 ※ なるべく数字(金額、人数等)を用いて記入してください。		KPI		—	—	—	—	—
			実績		—	—	—	—	—
			評価 (A~D)		—	—	—	—	—

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。		課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
	ごみステーション回収量前年度比 -40t ごみ搬入量前年度比 -126.73tの効果がでている反面、生ごみの回収量、参加世帯に伸び悩みがある。生ごみ回収量は微増であるが、食品ロス由来の生ごみもある事から、今後の課題となる。		取組世帯を増やすことは当然必要であると考えているが、生ごみの回収量=食品ロスとなってしまうのはいけないので、それらを含めた啓発活動が今後必要となる。

「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性

※ 課題とその改善方を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

地球規模で捉えれば小さな取り組みであるが、事業開始から10年間の生ごみリサイクル量は5,400tを超え、市民の理解を得ながら継続できる事業として今後も取組む必要がある。市民の更なる理解と協力を得るには目に見える効果を発信していく必要がある。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
 A: KPIに対して実績が100%以上 C: KPIに対して実績が89%~80%
 B: 99%~90% D: 80%未満

27 / 28 ページ

第2期日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート (令和3年度実施分)

基本目標	基本目標④「ふれあいあふれてよし ひおき」～地域の連携を深め、若者から高齢者まで、安心して暮らせるまちをつくる～		
事業名	②7日置市女性センター銀天街の充実・強化	担当課名	企画課
事業内容	個人を尊重し、多様な個性を生かす意識の醸成を図り、幅広い年代が気軽に立ち寄れる施設を目指します。		

単位：円

当該年度の予算執行内容	区分	R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)
会計年度職員報酬等（専門員、保育士等） 2,461,089円 講座等講師謝金 140,700円 需用費・役務費 187,247円 委託料・使用料及び賃借料 280,895円 施設維持負担金 215,532円	予算額	3,795,000	3,532,000	3,852,000	—	—
	執行額	3,256,873	3,285,463	—	—	—

基本目標における 数値目標		区分		数値目標					
		市民アンケート満足度 (日置市の住みやすさ)		70.5% (R1) ⇒ 75.0% (R6)					
重要業績評価指標状況 (KPI)	KPIの内容	基準値		R2 (1年目)	R3 (2年目)	R4 (3年目)	R5 (4年目)	R6 (最終年)	
	日置市女性センター銀天街の利用者数	1,664人/年	KPI	/	1,664人	1,664人	1,664人	1,664人	1,664人
			実績		1,367人	1,804人	—	—	—
			評価 (A~D)		C	A	—	—	—
	日置市女性センター銀天街による講座受講者で「再度利用したいと思う」割合 (アンケート結果)	90.0% (H30)	KPI	/	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上
			実績		100.00%	95.00%	—	—	—
		評価 (A~D)		A	A	—	—	—	
当該年度の取組内容と事業効果 ※ なるべく数字(金額、人数等)を用いて記入してください。		KPI		—	—	—	—	—	
		実績		—	—	—	—	—	
	評価 (A~D)			—	—	—	—	—	

男女共同参画拠点施設として、語り合いの場、学び合いの場、いきぬきの場を心掛け、互いに学び合いながら、成長していく施設を目指しています。男女共同参画に関する講座や子育て支援に関する各種講座、また異文化交流イベント等の開催のほか、日常の相談だけでなく男女共同参画専門員や助産師、保健師の在館による相談日を設定し、誰もが気軽に話せる場の提供を行った。(相談者に必要な支援が届くよう、関係各課と連携した運営を実施。)
(総利用者1,804人、講座、イベント数48回(うちコロナ関連による中止10回)、講座参加者数410人)

取組の検証	事業実施における課題 ※ KPI達成に向けた課題や問題となっている内容について記入してください。	課題に対する改善策 ※ 課題の対応策を記入してください。
		施設拠点地の伊集院地域には少しずつ認知されつつあるが、他地域ではまだ認知度も低く、地域間の利用状況の格差がある。また、施設名称のイメージによる限定的な利用になりやすく、男女共同参画の拠点施設としての施設周知が課題である。

「取組の検証(上記)」を踏まえた今後の方向性

※ 課題とその改善方策を踏まえ、次年度以降事業の見直しなどがあればその内容を記入してください。

市内外の老若男女、あらゆる状況、立場にあるすべての人々に開かれ、利用することができる施設として、継続した周知活動を行う。また、当センターを利用することで、男女共同参画は身近な生活と深いつながりをもつ問題であることへの理解を促し、誰もが自分らしくいきいきと充実した生活を送ることができるよう、「緩やかなつながり」を大切に、男女共同参画の推進を図る場としての提供促進を図る。

※ KPIの評価は、以下の達成状況に応じてAからDを記入する。
 A：KPIに対して実績が100%以上 C：KPIに対して実績が89%~80%
 B： " 99%~90% D： " 80%未満